

第96回福島県中央メーデー開催！！



ふくしまから日本を元気に!! 働く仲間の第96回メーデー



主催者挨拶・澤田精一実行委員長

連合福島は、実行委員会を組織しながら4月26日(土)、第96回福島県中央メーデーを福島市「さんかく広場」と歩行者天国となった「吾妻通り」で開催した。当日は天候にも恵まれ、約1,200人の仲間が参加し、式典・デモ行進後の「ふれあいイベント」も多くの組合員や家族、大勢の一般市民の方が楽しんだ。

式典で澤田精一実行委員長が主催者を代表し、「私たちを取り巻く状況は、賃金を上回る物価高が生活に大きな影響を及ぼし、適切な価格転嫁が進んでおらず、更に職場では人材不足が深刻となっている。その様な中、今年の春闘では、賃上げが当たりまえの社会、福島に「新たなステージを定着させる」ことを訴え、「人への投資」の

重要性について労使で共有し、組合の要求と粘り強い交渉により、前年に引き続き大きな成果を勝ち取った。「賃上げの流れ」を継続させ、併せて大幅な最低賃金の引上げを実現し、福島県で働く者全員の賃上げに繋げていかなければならない。

メーデーは、労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大はもとより、民主主義の発展、国際連帯、恒久平和の実現を求める「労働者の祭典」である。内外の情勢が不確実な時こそ、改めてメーデーの意義を確認し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、ともに進んでいきましょう」と挨拶した。

続いて、内堀雅雄福島県知事をはじめ多くの来賓の方々から祝辞が述べられた。メーデー宣言の採択と決議文の手交後、澤田実行委員長のガンバロー三唱で締めくくった。

式典後デモ行進をスタートし、メーデーの意義である「すべての働く者の権利と社会的地位向上」を市民に訴えた。アピールコンテストでは、自治労・福島市職員労働組合が最優秀賞に輝いた。

ふれあいイベントは、「魔法師ゆうたマジックショー」、「O・TE DANCE SCHOOL ダンスパフォーマンス」、「お楽しみ抽選会」などで、大いに会場は盛り上がった。

さらには「親子deものづくりコーナー」、「FOOD DRIVE」、「北陸物産販売・能登半島支援募金」、「福島県産野菜の販売」、「桜の聖母短大×いちいのコラボ弁当販売」や「授産施設作品展示即販売会」など数多くのテントが出店し、大盛況のメーデーとなった。



澤田精一実行委員長の発声で、団結ガンバロー三唱



来賓挨拶・左から内堀雅雄福島県知事、木幡浩福島市長、金子恵美立憲民主党県連代表代行、渡部優生国民民主党県連代表代行、狩野光昭社民党県連代表、石原洋三第27回参議院議員選挙福島県選挙区予定候補者



声高らかにデモ行進



福島市職員労働組合の皆さん